

# 平成26年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 日本研紙株式会社

コード番号 5398 URL <http://www.nihonkenshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宇田 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 吉村 勉 TEL 06-6536-3511

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	818	9.6	23		46		49	
25年12月期第1四半期	746	13.9	8		10		2	

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 142百万円 (%) 25年12月期第1四半期 223百万円 (79.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年12月期第1四半期	4.84	
25年12月期第1四半期	0.20	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
26年12月期第1四半期	6,167		2,078			32.9
25年12月期	6,414		2,251			34.2

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 2,027百万円 25年12月期 2,192百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年12月期				3.00	3.00
26年12月期					
26年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	1,700	14.8	40		20		0		0.00
通期	3,780	23.3	95		45		5		0.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	10,246,500 株	25年12月期	10,246,500 株
期末自己株式数	26年12月期1Q	24,618 株	25年12月期	23,597 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	10,222,648 株	25年12月期1Q	10,224,261 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種金融緩和政策効果による円安等により、景気は緩やかな回復基調で推移しましたものの、混迷するウクライナ情勢、新興国の成長鈍化が鮮明になりつつあるなかで株価の低迷もあり、依然として景気の先行きに不透明感を抱えて推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは人件費をはじめとする諸経費の節減・製造原価の低減を進めるとともに、新規顧客の開拓等に努めました。その結果、売上面は消費税増税の駆け込み需要等もあり前年同期を上回りましたものの、利益面では中国生産子会社の生産体制確立の遅れによる経費負担等もあり前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期の売上高は818百万円（前年同期比9.6%増）、営業損失は23百万円（前年同期は営業損失8百万円）、経常損失は46百万円（前年同期は経常損失10百万円）、四半期純損失は49百万円（前年同期は四半期純利益2百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントでありましたが、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を「国内製造販売」「海外製造販売」に変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### [国内製造販売]

国内製造販売セグメントについては、研磨ディスクやダイヤ研磨材の販売増加により売上面・利益面ともに前年同期を上回る水準となりました。

この結果、売上高は749百万円（前年同期比10.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は35百万円（前年同期比493.2%増）となりました。

#### [海外製造販売]

海外製造販売セグメントについては、売上面についてはほぼ前年と同水準となったものの、利益面につきましては、中国生産子会社の生産体制確立の遅れや、減価償却負担増等もあり前年を下回る水準となりました。

この結果、売上高は69百万円（前年同期比1.8%減）となり、セグメント損失（営業損失）は62百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）16百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,588百万円（前連結会計年度末3,735百万円）となり、前連結会計年度末と比べて146百万円の減少となりました。これは主にたな卸資産が65百万円増加した一方、現金及び預金が223百万円減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、2,497百万円（同 2,589百万円）となり、前連結会計年度末と比べて92百万円の減少となりました。有形固定資産が主として減価償却により75百万円減少したことによります。

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、81百万円（同 88百万円）となり、前連結会計年度末と比べて7百万円の減少となりました。これは新設の中国子会社にかかるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、2,226百万円（前連結会計年度末 2,112百万円）となり、前連結会計年度末と比べて114百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が111百万円増加したことによります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1,862百万円（同 2,050百万円）となり、前連結会計年度末と比べて188百万円の減少となりました。これは主に社債が45百万円、長期借入金が110百万円それぞれ減少したことによります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,078百万円（前連結会計年度末 2,251百万円）となり、前連結会計年度末と比べて173百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の第2四半期連結累計期間並びに通期連結業績予想につきましては、現時点においては平成26年2月18日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,205,846	982,715
受取手形及び売掛金	840,995	874,209
有価証券	34,147	10,028
商品及び製品	224,853	225,500
仕掛品	755,077	746,087
原材料及び貯蔵品	494,328	568,087
繰延税金資産	18,249	21,145
その他	165,391	164,041
貸倒引当金	3,624	3,455
流動資産合計	3,735,265	3,588,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	753,755	723,019
機械装置及び運搬具(純額)	940,282	897,769
土地	373,083	373,083
リース資産(純額)	350	185
建設仮勘定	4,501	3,522
その他(純額)	23,105	22,133
有形固定資産合計	2,095,079	2,019,713
無形固定資産	143,412	140,738
投資その他の資産		
投資有価証券	270,620	267,511
繰延税金資産	30,882	23,891
その他	50,243	46,107
貸倒引当金	380	376
投資その他の資産合計	351,366	337,133
固定資産合計	2,589,858	2,497,585
繰延資産		
開業費	88,933	81,150
繰延資産合計	88,933	81,150
資産合計	6,414,056	6,167,096

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	474,657	586,478
1年内償還予定の社債	150,000	150,000
短期借入金	1,305,144	1,316,386
リース債務	350	185
未払法人税等	5,918	4,300
賞与引当金	5,002	13,689
環境対策引当金	3,571	-
その他	167,418	155,558
流動負債合計	2,112,062	2,226,598
固定負債		
社債	495,000	450,000
長期借入金	1,355,777	1,245,316
退職給付引当金	117,140	98,907
役員退職慰労引当金	72,300	57,800
その他	10,007	10,029
固定負債合計	2,050,225	1,862,052
負債合計	4,162,287	4,088,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	512,325	512,325
資本剰余金	56,182	56,182
利益剰余金	907,634	827,448
自己株式	4,908	5,037
株主資本合計	1,471,233	1,390,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,066	54,226
為替換算調整勘定	666,623	582,262
その他の包括利益累計額合計	721,690	636,488
少数株主持分	58,845	51,037
純資産合計	2,251,769	2,078,444
負債純資産合計	6,414,056	6,167,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	746,468	818,428
売上原価	559,156	628,423
売上総利益	187,312	190,004
販売費及び一般管理費	195,371	213,096
営業損失( )	8,059	23,091
営業外収益		
受取利息	139	192
助成金収入	500	500
為替差益	10,661	-
有価証券運用益	-	1,040
その他	471	331
営業外収益合計	11,772	2,064
営業外費用		
支払利息	11,347	12,077
固定資産除却損	28	278
支払手数料	1,000	-
為替差損	-	6,564
開業費償却	-	4,593
その他	1,636	1,685
営業外費用合計	14,013	25,199
経常損失( )	10,300	46,226
税金等調整前四半期純損失( )	10,300	46,226
法人税、住民税及び事業税	660	3,202
法人税等調整額	8,905	5,785
法人税等合計	8,245	8,988
少数株主損益調整前四半期純損失( )	2,054	55,214
少数株主損失( )	4,066	5,697
四半期純利益又は四半期純損失( )	2,011	49,517



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失( )	2,054	55,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,462	840
為替換算調整勘定	207,021	86,471
その他の包括利益合計	225,483	87,311
四半期包括利益	223,429	142,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,796	134,718
少数株主に係る四半期包括利益	2,633	7,807

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

当社グループは、研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内製造販売	海外製造販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	749,068	69,359	818,428	-	818,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	51,814	-	51,814	51,814	-
計	800,883	69,359	870,242	51,814	818,428
セグメント利益又は損失( )	35,035	62,746	27,710	4,619	23,091

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額4,619千円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、研磨材製商品の製造販売を事業内容とする単一セグメントとしておりましたが、中国事業の重要性が高まったことに伴い、セグメントの区分方法の見直しを行った結果、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを、従来の単一セグメントから「国内製造販売」「海外製造販売」に変更しております。また、前第1四半期連結累計期間については、当該変更後の区分により作り直しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントに基づき作成すると次のとおりになります。

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内製造販売	海外製造販売	計		
売上高					
外部顧客への売上高	675,816	70,652	746,468	-	746,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	71,264	-	71,264	71,264	-
計	747,080	70,652	817,733	71,264	746,468
セグメント利益又は損失( )	5,906	16,011	10,105	2,045	8,059

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額2,045千円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。